

会 議 録

会 議 名	令和8年度第1回野田市総合教育会議
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	野田市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置 実施計画について（報告）（公開）
日 時	令和8年4月22日（水） 午後3時から午後3時37分まで
場 所	東葛飾研修所本館1階 第1研修室
出席者氏名	委員 鈴木有（市長） 染谷篤（教育長） 伊藤稔（教育長職務代理者） 飯田芳彦（教育委員） 永瀬大（教育委員） 吉田富昇（教育委員） 事務局 今村繁（副市長）、代田明洋（教育次長兼生涯学習部 長）、下川泰弘（学校教育部長）、峯崎光春（生涯学 習部次長兼生涯学習課長）、大久保崇雄（教育総務課 長）、廣居信和（学校教育課長）、間々田英示（指導 課長）、今井清人（学校教育課主幹）、田嶋秀志（企 画調整課長）、大塚崇史（企画調整課長補佐）、沖田 真弥（企画調整課企画調整係長）
欠席委員氏名	なし
傍 聴 者	なし
議 事	第1回野田市総合教育会議の会議結果（概要）は、次のとおりである。
企画調整課長	会議は原則公開、傍聴の許可、会議資料及び会議録の公表について説明した。 会議録作成のため録音機を使用することについて了承を得た。 出席者について報告した。 以後の議事進行は、野田市総合教育会議運営要項第2条に基づき、市長が議長を務めるものとされていることから、議長を市長に依頼する。

市	長	開会を宣言する。 本日協議していただく議題は、「野田市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について（報告）」である。 本件は、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の改正に伴い、同法第8条で、教育委員会は、文部科学省の指針に基づき、教育職員に係る業務量管理・健康確保の措置の実施に関する計画を定めるとされたことから、本市においても昨年度末に本計画を策定し、4月から施行しているところだが、計画を策定した際には、総合教育会議への報告が義務付けられているため、本日の議題とするものである。 今後、取組の着実な実行を図るため、毎年度、市内各学校における計画の実施状況が当会議に報告される。 皆様には、自由な意見交換ができるよう忌憚^{きたん}のない御意見を頂きたい。 議題 「野田市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について（報告）」
市	長	説明を求める。
学 校 教 育 部 主 幹		<配付資料に沿って説明>
市	長	ただ今の説明について、意見や質疑等はあるか。
吉 田 委 員		本計画にある、教育の質向上に不可欠な時間的余裕を創出するという視点が抜け落ちてはならないと強く思っており、教職員の意欲低下にならないように市教育委員会としても注意していかなければならないと考えている。 また、教職員の業務量管理と健康管理は関係しあっているため、一体的に対策措置を考えなくてはならないのはやむを得ないが、メンタルヘルスの管理においては、業務量削減だけでなく対人的な課題の解決が必要な場合もあると考える。 計画で明示しないまでも、職員の状況把握やストレスチェッ

学 校 教 育 部 主 幹	クの項目の工夫で、より実態に応じた対応措置を講じていただきたいと考えるが、いかがか。 御指摘のとおり、業務量と健康の両輪で考えて進めなくてはならないと考える。 働き方改革によって教員の負担軽減だけを図るのではなく、教員が授業力向上研修に勤しめる時間を確保し、それによって子供たちにとって良い教育環境になり、子ども達の成長を助けることに繋がられればと考えている。毎年実施されるストレスチェックの結果に基づき、各学校の実態に応じた対応措置に合わせた改革が進められるよう、教育委員会としてもバックアップしていきたい。
飯 田 委 員	時間外在校等時間に関する目標を掲げているが、千葉県平均や他市との比較を伺う。
学 校 教 育 部 主 幹	月平均時間外在校等時間を県平均と比較すると、小学校、中学校ともに若干短い結果となっている。 一方、近隣の松戸市、流山市と比較すると、中学校における時間外在校等時間が両市よりも長くなっており、課題ととらえている。
飯 田 委 員	相対的に見ると中学校は、近隣他市より時間外在校等時間が長いということだが、その中身について、ある程度の分析はもう済んでいるのか伺う。
学 校 教 育 部 主 幹	時間外在校等時間については数年前から調査しており、その中で共通して見えてくる部分などを課題として捉えている。 今回計画を実行する中で、どれだけ改善されるのか、どういったものが有効かというところを注視しながら、今後進めたいと考えている。
飯 田 委 員	今回策定した計画に沿って施策を実施するが、具体的にはこれからということか。

学 校 教 育 部 主 幹	お見込みのとおり、細かいところは今後詰めていきたいと考えている。
伊 藤 委 員	中学校の時間外在校等時間は、部活動の地域移行により減っていくという見通しなのか。 また、小学校は給食時に特別活動として行う職に関する指導について、栄養教諭等が実施するなどにより時間外在校等時間が減っていると読み取れるが、その理解でよろしいか伺う。
学 校 教 育 部 主 幹	本市における部活動の展開については、地域移行も含めた中でより良い形になるよう検討している。 また、小中学校に共通して、勤務時間内にできるだけ教育活動を終えて、放課後により多くの事務作業ができる時間を作るというところで日課を工夫している学校が多くある。その中で部活動についても、勤務時間内で終了時刻を設定する形をとっている学校もあると聞いている。
伊 藤 委 員	大学生の教員希望者がかなり減ってきているが、学生本人よりもその親が教員の仕事はきついという雰囲気を感じてしまっている。 野田市のこのような取組によって、大変な仕事もあるけれど、それ以上に教育の教える喜びや子供と一緒に活動する喜びみたいなものが成果としてあるということで、働き方改革と併せて何か魅力みたいなものも出せるといいと思う。
永 瀬 委 員	特に中学校において、目標を達成するためには、かなり大々的な改革をしなければならないように思われるが、方針等があるのならば伺いたい。
学 校 教 育 部 主 幹	御指摘のとおり、目標を達成するのは本当に難しいところではあると考えている。 本計画の目標で、1年間における1箇月時間外在校等時間の平均を30時間程度にするとした理由は、全教職員の1箇月時間

	外在校等時間が45時間以内となった場合、平均が30時間程度になるためである。 そのため、一人一人がまず45時間を超えないよう改善していくことが大切である。 このことについて、効果的な方法の一つではないと考えており、計画の4に示している三つのうちどれかではなく、すべてを地域や保護者にも協力を得ながら実施していくことが必要であると考えている。 また、学校や教育委員会だけでは解決できない学校の問題を、関係機関や関係部局の協力も得ながらやっていくことも大切であると考えている。
吉 田 委 員	先程の伊藤委員からの意見に関連して、教職員が楽しく前向きにやっていることをアピールできるような、ホームページか何かを作成して、野田市の教育の魅力を積極的にアピールすることで、教職員の確保に努めるということも、これからは大切ではないかと思う。
教 育 長	様々な数値目標があり、様々な政策を通してやってみても、全ての数値目標を達成するということは、なかなか難しいことではないかというふうに今感じているところである。 先程から出ているように、時間をしっかり区切って退勤させることが、果たして教員にとって幸せなのかどうかということ、私は常々疑問に思っている。 その他の指標として、例えば高ストレス者の割合や働きがいがあるといった項目があるが、こういうことこそ世間にアピールして、教職員としての魅力を出すべきなのではないかと私は考えている。 勤務時間ばかりが前面に出るよりは、同程度かそれよりも、教職員は働きがいがあるのだという数字、ストレスチェックにおける働きがいがあるの値で58.5以上という目標があるが、こちらの方を市教育委員会としてもアピールしながら、素早く達成できるような、様々な施策を考えていきたいと思っている。 あわせて勤務時間が入ってくればそれに越したことはないが、

学 校 教 育 部 長	働きがいというのは、個人個人で感じることだと思うが、教職員を目指す者たちにとって、子ども達を教え育むこと、子ども達の成長を見守ることが楽しいのだということを、教育委員会として指導していきたいと考えている。 そのため、職場環境によるストレスのなさも、もちろん大事だと思うが、何より働きがいがあるということの目標をまず掲げて進めていきたいと考えているところである。 先程、永瀬委員から質疑のあった具体的な方法について、先週、初任者の研修を実施したが、実際にやってみて不安に思うことを聞くと、授業が1番でその次、校務分掌上の仕事が2番であった。 このことについて研修会では、授業については、やはり先輩職員のノウハウを教えていただく、あるいは資料等も活用するようにと伝えている。また、校務分掌については、おそらく一つの仕事を一人でやることはなく、必ず過去に経験した先生方がいることから、時短に繋がるように業務を進めるようお願いした。 学校の運営方法、業務改善に係る取組については、6月あたりに、各校長から人事評価の当初申告で聞き取れるため、具体的な取組をそこで示していただきながら、実際に最終申告でどうだったかを教育委員会として、確認、監督していきたいと考えている。
市 長	この際、ほかに自由意見を求める。 <意見なし>
市 長	閉会を宣言する。 以上